

みんなちがつてみんないい

小 二

わたしのお母さんの妹のA
ちゃんは、車いすをり用して
います。四さいのときにびよ
う気になって足がふ自ゆうに
なったそうです。

わたしは、そんなAちゃん
のことを、「つらそう。」「か
わいそうだな。」と思っていま
した。お出かけをしても、エ
レベーターをさがしてのらな
いと上へ行けません。一人で

だんさを上がれません。人が
こんでいるところは、少しづ
つしか前へすすめません。家
の中で、ゆかにものがおいて
あると、Aちゃんが通れない
のでゆかにものをおかないよ
うにしています。

Aちゃんは、東京パラリン
ピック出場を目ざして、りく
上きようぎをしています。わ
たしは、しょうがいしやスポ
ーツの大会のおうえんに行き
ました。会場には、手がない
せん手や足がないせん手、車
いすのせん手がたくさんいま

した。テレビでは見たことがあつたけれど、ぎ足の人をはじめ見て、わたしは立ち止まっつて、じろじろ見てしまいました。お母さんに、

「いろいろな人がいるんだよ。みんなちがつて、みんないいよね。」

と言われました。わたしは、「人と人つてそれぞれちがつんだ。」と思ひました。

雨がふつてきたのでカッパをききました。風も出てきて、さむくなりましました。いよいよAちゃんのレースです。家ぞ

くみんなで、「いけー。がんばれ、Aちゃん。」

と大きい声でおうえんしました。わたしもおうえんして、るところからですが、ゴールまでいっしよに走りおうえんしました。一いでした。さむい雨の中でも、手の力や体ぜん体をつかつて走っているAちゃんはずごくで、かつこいと思ひました。ど力をつみかさねて、たくさんれんしゅうしたんだなと思ひました。

レースがおわつてから、わ

たしは、

「Aちゃん、一いおめでとう。

日本きろくこうしん、すごいよ。れんしゅう、たくさんしたんだね。つらい、いやだなと思うこと、なかったの。」

と聞きました。Aちゃんは、

「ありがとう。れんしゅうは、すごく大へんだよ。でも、みんながおうえんしてくれるからがんばれるよ。」

とえがおで言いました。

わたしは、足がふ自ゆうで歩くことができないから、いつも「かわいそうだな、心ば

いだな。」と思っっていたけれど、今は思いません。

Aちゃんは、いつもしんけんで、自分の足のことをぜんぜん気にしていません。

みんな人それぞれ、いろいろな人がいます。

みんなちがって、みんないいと思います。

わたしはソフトボールをならっていきます。Aちゃんみたいにたくさんど力して、れんしゅうして、強くなりたいです。そして、「かっこいいすがたを見せたいな。」と思います。